

# 社会教育 かわら版

## おびらっ子クラブ 「スノートレッキング教室」参加者募集

日時 平成21年3月14日(土) 9:30~12:00まで  
9:20までに文化交流センターに集合  
場所 小平町内  
対象者 3年生以上のクラブ員  
定員 20名  
参加料 1人200円  
持ち物 長靴、帽子、手袋、ストック、飲み物、タオル  
着替え  
申込み 3月9日(月)までに申込み下さい。  
\*\*\*\*\*  
担当 文化交流センター(長澤)

## アルペンスキー教室参加者募集

体育指導員が丁寧に指導致しますので、皆さんぜひご参加下さい。  
日時 平成21年2月17日(火)・18日(水)  
18時~20時30分(17時45分より受付)  
場所 望洋台スキー場  
指導者 小平町体育指導委員  
対象者 町内小学生  
参加料 1教室500円  
保険 各自にて加入願います  
申込み 2月10日(火)までに申込み下さい。  
\*\*\*\*\*  
担当 海洋センター(木村・外山)

## 生涯学習リーダー募集!

あなたの学んだものを町づくりや、次代を担う子ども達のために活かしてみませんか。リーダー登録は文化交流センターまたは海洋センターまで。また、リーダーの派遣を希望される方は社会教育課までご相談ください。

\*\*\*\*\*

お問合せ 文化交流センター(金子) Tel 56-9500 Fax 56-9555 E-mail syakyo01@town.obira.lg.jp  
海洋センター(木村) Tel・Fax 59-1216 E-mail syakyo\_bg01@town.obira.lg.jp

## 小平郷土資料通信 No.42

### 養蚕(ようさん)と「桑園」

みなさんはカイコ(蚕)を知っていますか?カイコはガ(蛾)の一種で、カイコがサナギになるときにつくる「繭(まゆ)」から作られる「生糸(きいと・絹糸ともいう)」は、着物やハンカチ・ネクタイといった高級な織物に使われています。カイコはすっかり家畜化されて羽根が退化してしまい飛ぶことが出来ません。人間の手を借りずに自然界では生きていくことが出来ない昆虫です。

さて、小平には「桑園」という地名があります。道内で「桑園」という地名が残っているのは札幌と小平だけです。これはカイコを飼育する「養蚕」が行われ、カイコに食べさせる桑(クワ)を栽培した畑があったことに由来します。小平で養蚕がさかんになったのは明治40年(1907)頃と言われています。折真布方面に入植した人たちの間で、衣類の自給のために始まったと言います。折真布には野生の桑「山桑(ヤマグワ)」が自生していたこと、開拓で入植した人たちの多くは郷里で養蚕を経験していたこと、道庁の奨励もあり次第に規模が拡大、販売するようになりました。大正2年(1913)には、小平養蚕組合が結成され、蚕種(カイコの卵)の共同購入やクワの優良品種の試作・普及などを行い繭の品質向上に取り組み、本州から繭集荷業者を招いて「繭市」を開きました。「繭市」には、様々な品物を商う出店がでてお祭りのようににぎやかだったそうです。

アメリカやヨーロッパに輸出され人々に現金収入をもたらした養蚕ですが、化学繊維ナイロンの開発で絹の靴下からストッキングへ流行が移り、生糸は売れなくなります。小平でも昭和初年頃には除虫菊栽培に押されて養蚕は衰退し、昭和28年(1953)頃に養蚕は全く姿を消してしまいました。



「まぶし(しび)」に繭を作ったカイコ  
カイコが糸を吐き出す頃、カイコを收容し、繭を作らせる



座繰り(ざぐり)  
鍋で煮た繭から引き出した糸に撚りをかけ巻き取る道具(小平町郷土資料館蔵)

2月の古文書教室の予定  
16日(月)に実施します